平成24年度在宅医療連携拠点事業

プロジェクトZ

臼杵市医師会立コスモス病院
〇MSW　野上美智子
看護師　　安東直美
医師　　舛友一洋
プロジェクトZ

臼杵市の背景

人　　口	40,520人	（2012.10.1現在）
男　性	18,978人	
女　性	21,542人	
世帯数	15,473戸	
年少人口	4,828人	（0～14歳　・12%）
生産年齢人口	23,145人	（15歳～64歳・56%）
老年人口	13,480人	（65歳以上　・32%）
団塊世代	4,027人	（0～4歳のほぼ3倍）
要介護認定者	2,620人	（平成22年）
高齢化率	32．4%	

臼杵市の保健医療体制　2012.11.1現在

医療機関　臼杵市医師会立コスモス病院

病院	3
医院・診療所	28
医師数	56

歯科医院	16
歯科医師数	26

臼杵市医師会立コスモス病院

病床数　　202床(亜急性期病床28床)　開放型病院

診療科目　内科　循環器科　呼吸器科　胃腸科　外科

整形外科　リハビリテーション科　リウマチ科　肛門科　放射線科

看護体制　10対1　　在院日数 21日　　紹介率　92%

特　徴　・地域医療支援病院　1/123

・災害拠点病院　2医療圏1

・難病支援基幹協力病院　1/12

・地域ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ広域支援ｾﾝﾀｰ　1/10

行政との連携

1. 糖尿病ネットワーク
2. 認知症を考える会
3. うすき石仏ねっと
4. がん在宅医療連携事業
5. 自殺･うつ対策体制整備事業

在宅医療連携拠点事業

主旨:キーワードは連携

短期間での事業推進→みんなの力を借りないとできない

臼杵市の医療福祉従事者の力を集結したい

1. コスモス病院内に事業推進班(コアメンバー)設置
2. 相談窓口→地域医療福祉連携室とする
   - ケアマネージャーの資格を持った看護師
   - 医療ソーシャルワーカー
3. プロジェクトチームの結成
4. 作業班に分かれての業務推進

在宅医療連携拠点事業　組織図及び作業班

厚生労働省

臼杵市医師会　大分県　臼杵市

臼杵市医師会　ー　臼杵市医師会立コスモス病院【地域医療福祉連携室】

プロジェクトZ

コアメンバー　ケアマネを持った看護師・安東　医療ソーシャルワーカー・野上　連携室MSW
医師・舛友　事務局　平田局長・佐藤事務長　情報室・小野　地域包括支援ｾﾝﾀｰ・久保田

(医師会)吉田(訪問看護)宇野・高崎(保健所)藤内・市原(福祉保健)大戸・吉賀(高齢者支援課)芳山(保健健康課)姫嶋(福祉課)藤澤(総務課)江川(ｺﾐｭﾆﾃｨ防災課)板井(歯科医師会)小名川(薬剤師会)神田・正国(歯科衛生士会)有松(栄養士会)安部(社協)伊藤(居宅支援事業所)太田・疋田(ﾎｰﾑﾍﾙﾊﾟｰ)高山 (ｺｽﾓｽ病院)亀井・竹村(県リハ)

実働メンバーの追加

調査班

1.医療従事者調査
2.医療福祉従事者調査
3.当事者調査

広報班

1.資源マップ作成
2.啓発用ちらし作成
3.講演会開催
4.ｹｰﾌﾞﾙﾃﾚﾋﾞ番組

研修班

1.研修課題抽出
2.研修実施
3.ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞへの掲載

IT班

1.うすき石仏ねっと
2.訪問看護とのアクセス
3.要援護者の把握
4.防災機器の準備
5.安心キットとの連携

防災班

24時間体制班

1.開業医への啓蒙
2.訪問看護との連携
3.24時間体制構築

行政機関との合意を図る　2012.6.22(内示5.16)

事業説明を行ない行政の政策や事業とのすり合わせを行なった

・保健所

・市役所

・コスモス病院

厚生労働省の説明会へ　7.11-12

約1,800万円の事業です

・大戸福祉保健部長
・舛友副院長
・MSW野上

厚生労働省西岡さんに 9/29講演の約束を頂く

地域ケア連絡会議　2012.7.17(火)13:30～15:00

臼杵市の医療福祉従事者　約70名

主に居宅介護支援事業所

事業説明と協力の依頼

第1回プロジェクトZ　会議　2012.8.2

専門職・団体集合

35名

医師会・保健所

訪問看護

歯科医師・薬剤師

防災班

24時間体制班

広報班

IT班

作業班別グループ討議

研修班

調査班

厚生労働省 Ministry of Health, Labour and Welfare

平成24年度在宅医療連携拠点事業内容概要

在宅医療連携拠点事業のタスク

①多職種連携の課題に対する解決策の抽出
②在宅医療従事者の負担軽減の支援
③効果的な医療提供のための他職種連携
④在宅医療に関する地域住民への普及啓発
⑤在宅医療に従事する人材育成
⑥復興枠

1年の事業で基礎づくり→これから10年にわたる取り組み

在宅医療連携拠点事業のタスクに対するとりくみ

①多職種連携の課題に対する解決策の抽出→調査班

1.**医療福祉従事者**の課題抽出－75名によるグループワーク
　→多職種連携の課題・人材育成の課題
2.**福祉にかかわる市民**へ在宅医療の認知度についてアンケート
　→啓発の課題
3.**在宅医療を受けている方**への聞き取り調査（地域包括と協働）
　→在宅医療の基盤整備・効果的な医療福祉提供の課題
4.**がんで亡くなった方の家族**への聞き取り調査
　→現在の医療福祉サービス提供の見直し

臼杵市ですでに終了している調査

・臼杵市における医療機関の課題→平成23年度保健所事業
・臼杵市民の意識調査→平成24年度臼杵市地域福祉計画

調査班・研修班　2012.8.21　地域リハビリテーション研修会と共催

がん患者の事例を通して在宅医療従事者の課題抽出を行った

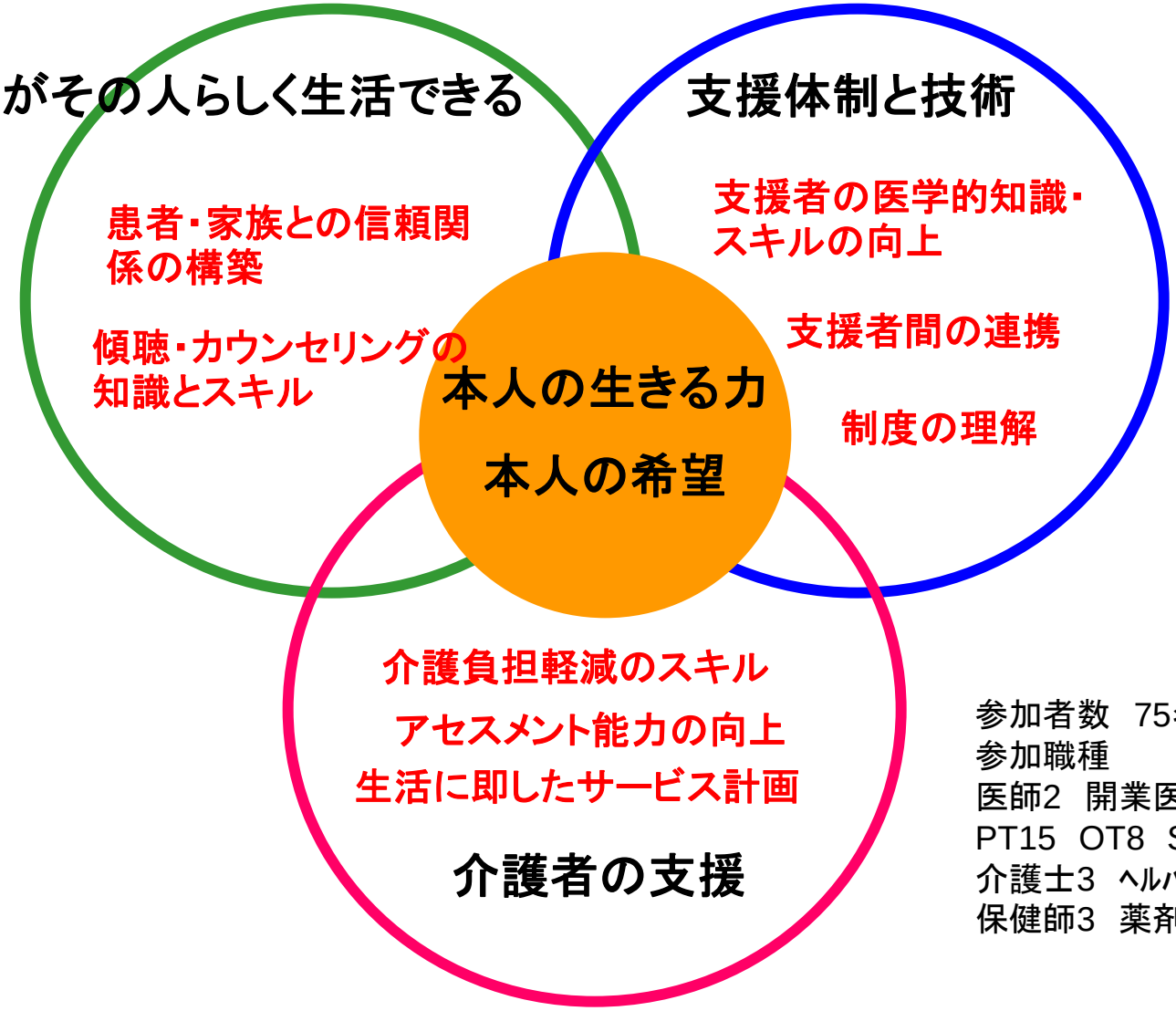
総勢75人のグループワーク

←ドクターたち

↓　多職種

臼津圏域地域ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ・在宅医療連携拠点事業研修会2012.8.21

医療福祉従事者の研修課題・医療ニーズの高いがん患者の支援を通して

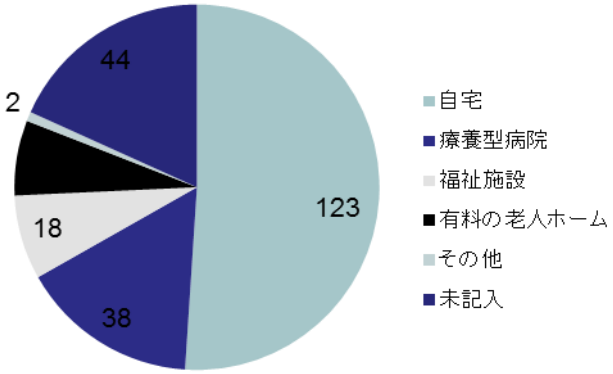


参加者数　75名
参加職種
医師2　開業医3　看護師17
PT15　OT8　ST3　SW5　CM17
介護士3　ﾍﾙﾊﾟｰ5
保健師3　薬剤師3　栄養士1

調査班　2012.11.17　臼杵市社会福祉大会での意識調査

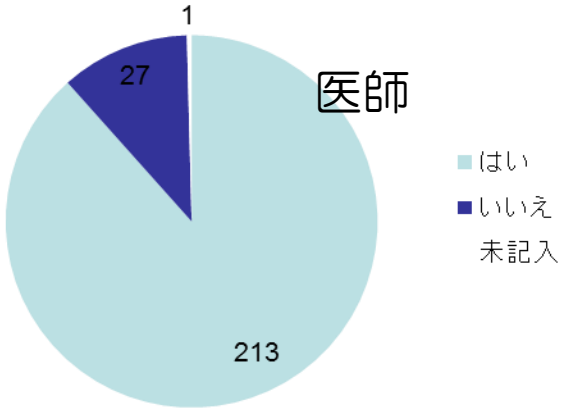
福祉にかかわる市民へ在宅医療の認知度について

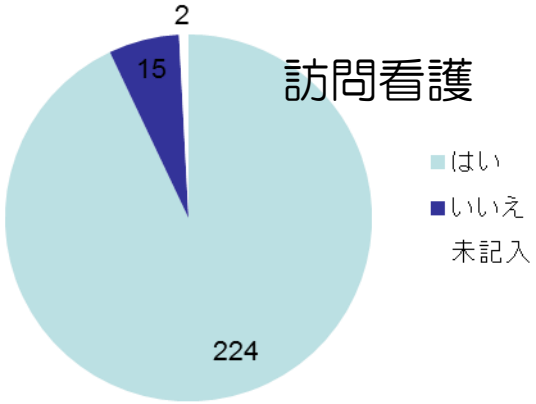
参加者444名
アンケート回収人数241名
（回収率54.3%）

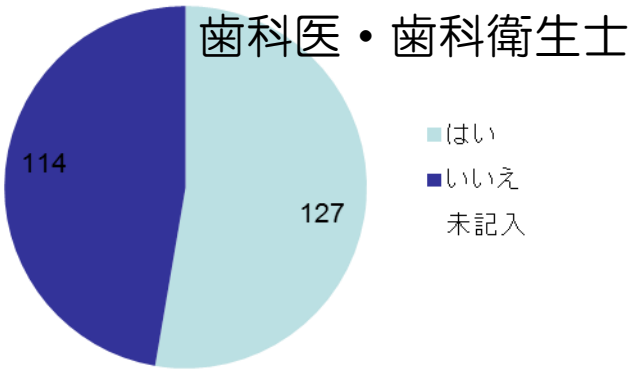


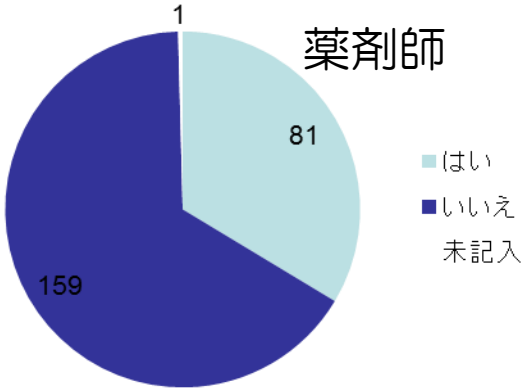
医療や介護が必要になったら家で暮らしたい60%
家族に迷惑がかかるので病院や施設を選ぶ

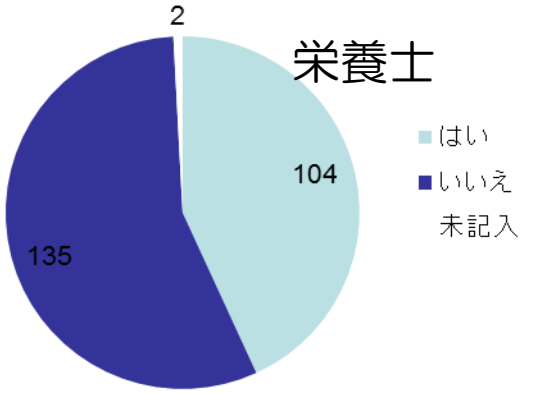
医師・看護師が訪問できることの認知度は高かった



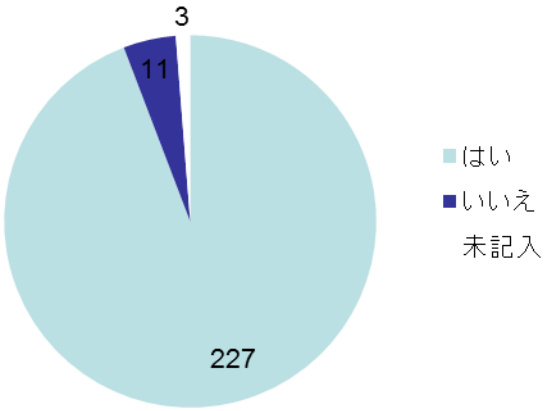




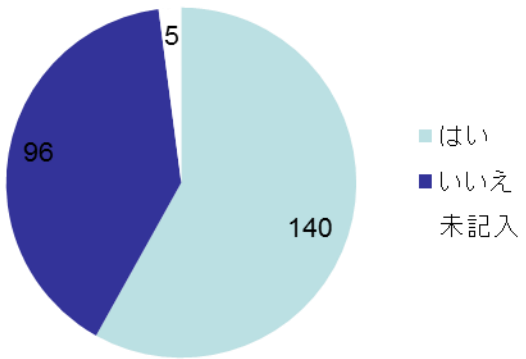




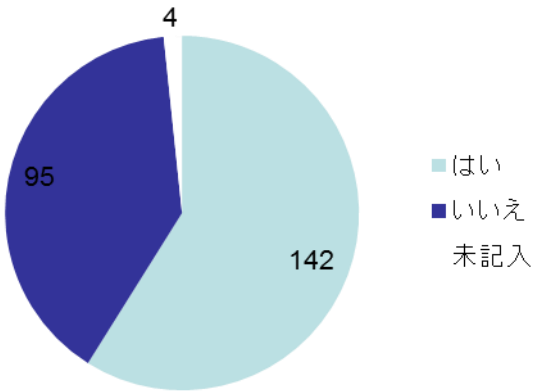
在宅医療という言葉を知っている



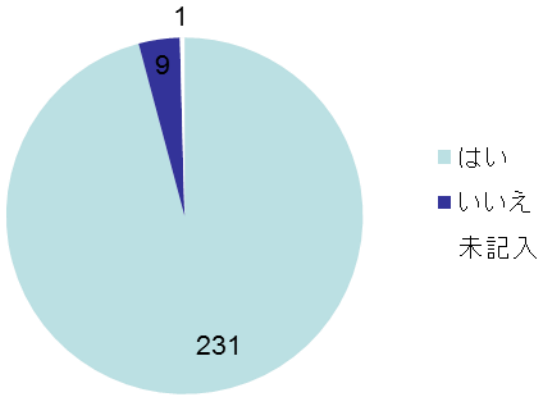
医療福祉の連携がうまくいってることを知ってる



コスモス病院が在宅医療連携拠点事業を受けたことを知っている



ケーブルテレビなどの啓発事業に関心がある



※　来年度の大会で再度アンケートを取って啓発の効果測定する

調査票
平成24年度在宅医療連携拠点事業　調査
調査ご協力のお願い

在宅医療を受けている方に対して
ケアマネージャーによる聞き取り調査

問い・どんな条件がそろえば在宅医療を幸せに受けることができるか

　この調査は、臼杵市医師会立コスモス病院が厚生労働省より受託しました、平成24年度在宅医療連携拠点事業の助成を得て行う研究です。在宅療養はどのような条件が整えば可能なのか、そしてどのような条件が整えば患者や家族が幸せなのか、その実態や意見を調査・研究し、今後少しでも臼杵市民の方が在宅医療を選択できるような環境をつくるための参考とすることを目的とします。本調査の趣旨をご理解いただき、患者様、ケアマネジャー様の率直なご意見の記入をお願いいたします。
　お答えいただいた内容は、全体をとりまとめて統計的に処理しますので、一人一人のお答えの内容が外にもれるようなことはございません。お忙しいところ、こまかい内容で恐れいりますが、何とぞよろしくこの調査にご協力いただきますようお願い申しあげます。

臼杵市医師会立コスモス病院・平成24年度在宅医療連携拠点事業　調査班

※この調査についてのご意見・お問い合わせがございましたら、
臼杵市医師会立コスモス病院　地域医療福祉連携室までご連絡をお願いいたします。
臼杵市医師会立コスモス病院
地域医療福祉連携室
TEL　62-5883（直通）

37人/39人　12月に調査終了　分析中→ホームページ

在宅医療連携拠点事業のタスクに対するとりくみ

②在宅医療従事者の負担軽減の支援→24時間体制班

1.24時間体制の構築
　　→医師会による救急当番体制の周知
　　→コスモス病院特別対応－難病・呼吸器疾患・アナフィラキシー

2.かかりつけ医と訪問看護ステーションとの連携強化

24時間体制

臼杵市の夜間・土日・祝日医療体制

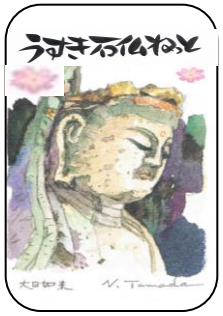
意識がない・反応がない・高度な外傷など命に関わる状態の方は
24時間365日　コスモス病院が対応しています

また、在宅の難病患者などの方に対して特別対応というシステムがあります

在宅医療連携拠点事業のタスクに対するとりくみ

③効果的な医療提供のための多職種連携→IT班

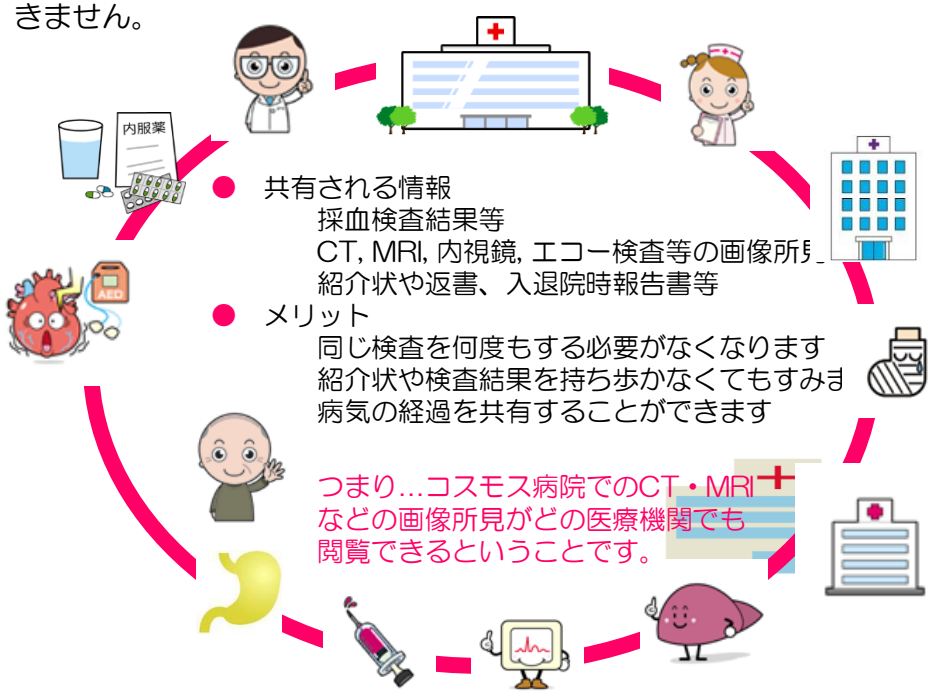
1.IT化による情報の共有
　　→うすき石仏ねっとの開発
　　→**訪問看護ステーションとうすき石仏ねっとを繋ぐ**
2.共有情報のためのホームページ立ち上げ
　　→**ホームページ　プロジェクトZ**
　　→臼杵市内の研修情報の公開
3.情報共有のための情報ツールの開発
　　→**看看連携シート**の作成－特に医療ニーズの高い方
　　→現在の地域医療連携シートの電子カルテ化



うすき石仏ねっと

石仏があなたを守って下さる

「うすき石仏ねっと」とは、臼杵市内の医療機関を結ぶ情報ネットワークです。
皆様に「石仏カード」を提示していただくことで、様々な医療機関にあるデータを共有することができるようになります。
「石仏カード」には、医療情報は入っていません。「石仏カード」は情報を結び付ける鍵ですので、「石仏カード」が提示されなければ、情報の共有はできません。



- 共有される情報
  - 採血検査結果等
  - CT, MRI, 内視鏡, エコー検査等の画像所見
  - 紹介状や返書、入退院時報告書等
- メリット
  - 同じ検査を何度もする必要がなくなります
  - 紹介状や検査結果を持ち歩かなくてもすみま
  - 病気の経過を共有することができます

つまり…コスモス病院でのCT・MRIなどの画像所見がどの医療機関でも閲覧できるということです。

初回無料　あなたも「石仏カード」を作ってみませんか？
お問い合わせは　かかりつけの医療機関へ

臼杵市医師会

臼杵市の協力を得て
24度事業でコスモス病院と
訪問看護ステーション2カ所を
繋ぐ予定。

医療福祉連携シート

臼杵市医師会立コスモス病院

フリガナ		性 別	年 齢	生年月日
氏 名			歳	
入 院 日		退 院 日		

	退院時の状況		情報提供	
作 成 日			かかりつけ医	
記 入 者	看 護 師	病棟	訪問看護	
	ソーシャルワーカー		特定疾患	
医療情報	病 名		居宅介護支援事業所	
	主 治 医		ケアマネージャー	
	リハビリ	PT OT ST	介護度	□支1 □介1 □介3 □介5 □申請中 □支2 □介2 □介4 □未申請
服薬管理	□自立 □見守り □一部介助 □全介助		栄養・褥瘡	
食 事	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □普通 □きざみ □ペースト □経管栄養			
口腔ケア	□自立 □見守り □一部介助 □全介助			
寝 返 り	□自立 □見守り □一部介助 □全介助		リハビリ	
座位保持	□自立 □見守り □一部介助 □全介助			
立 位	□自立 □見守り □一部介助 □全介助			
移 動	□独歩 □杖 □歩行器 □車椅子			
排 泄	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □バルーン □ストマ □オムツ □リハビリパンツ			
入 浴	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □自宅 □補助浴 □機械浴			
衣服着脱	□自立 □見守り □一部介助 □全介助		身体障害者手帳 種 級 部位	
認 知 症	□なし □あり MMSE（ 点）		BPSDなど	
意思伝達	□可 □不可（ ）			
行動障害	□なし □あり（ ）			
睡眠障害	□なし □あり（ ）			

カンファレンス情報

添付書類
□心不全 □服薬 □胃瘻 □リハビリ
□糖尿病 □褥瘡・皮膚 □栄養 □その他

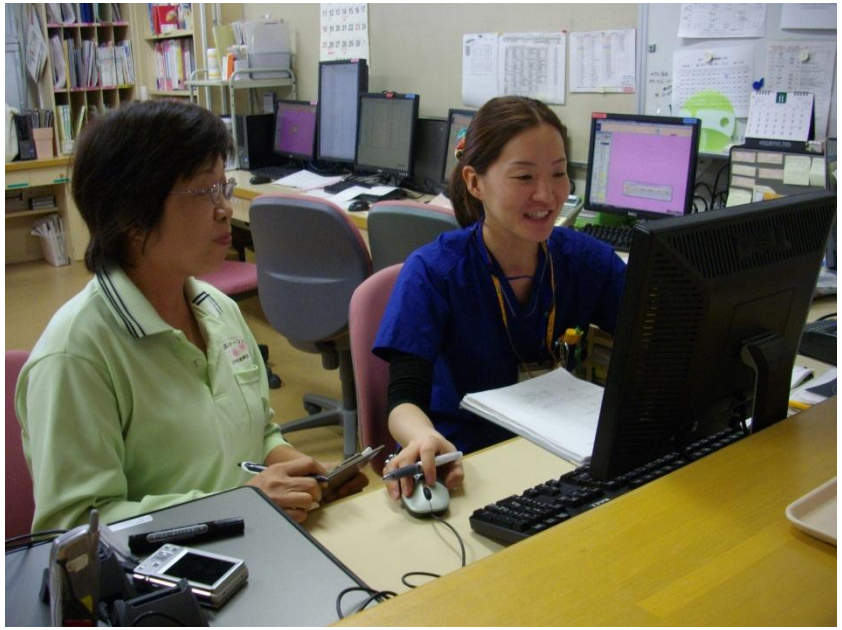
＜ケアマネージャー様へ＞ 第3表 週間サービス計画表が出来ましたら地域医療福祉連携室へお届け下さい。
右記入欄は再入院時の情報提供の際にご利用下さい。

医療福祉連携シート

当院ではすでに連携シートをケアマネージャーとのカンファレンスや情報交換に使って、ケアマネージャーからのフィードバックとして支援計画第3表をいただいている。
シートのさらなる改良と電子カルテ内での運用を計画中です。

今年度末には完成予定

看看連携のための情報交換
情報提供シートの作成段階
↓



訪問看護師と病棟看護師

電子カルテ閲覧の承諾書

承 諾 書

平成　　年　　月　　日

臼杵市医師会立コスモス病院院長 殿

退院後の自宅療養のために、医療情報交換の必要があることを理解し、訪問看護ステーション　　の担当看護師とコスモス病院の担当看護師が お名前　　の電子看護カルテを一緒に閲覧することを承諾します。

患者氏名
代理人氏名　（間柄　　）印

アンケートにご協力ください

現在、訪問看護ステーションを利用されて在宅で療養されている患者様が退院する際には、病院の看護師から訪問看護ステーションの看護師に情報提供がされています。この情報提供は報告書として紙媒体で行われています。今回、電子カルテという新たな媒体を介しての情報提供を行うに当たって、我々はあえて皆さまの承諾を頂くことにしました。
この様な情報提供についてお尋ねします。
この承諾書を依頼されたとき違和感を覚えましたか？
違和感なし（　　）
違和感あり（　　）
この承諾書は必要でしょうか？
必要　　（　　）
必要ない　（　　）
承諾書が必要な理由または必要ない理由を教えてください。

臼杵市医師会立 コスモス病院

在宅医療連携拠点事業 プロジェクトZ

トップメニュー

- トップページ
- 市民のみなさまへ
- プロジェクトZって何？
- 臼杵市の現状
- 臼杵市の医療
- 研修会のお知らせ
- うすき石仏ねっと
- 災害にそなえて
- 参考資料
- プロジェクトZメンバー
- フォトギャラリー
- 相談窓口
- 事業報告

みんなで支える在宅医療

自分らしい生き方を選択しましょう

在宅医療とは・・・さまざまな慢性的な病気をかかえていても、自宅にいながら必要な医療サービスが受けられることです。
「住み慣れた地域で生活したい」「家で最後を迎えたい」といった本人の願いをご家族、病院の先生、開業医の先生、歯科の先生、訪問看護師、薬剤師、ケアマネージャーなど医療・介護に関係する全ての職種がチームとなって”あなた”をサポートします。

新着情報

- 在宅医療連携拠点事業 プロジェクトＺホームページ開設しました（2012/12/25））
- 臼杵市認知症市民フォーラムが開催されました（臼杵市役所ホームページ）
- ケーブルテレビでの番組「お家で暮らしたい」が開始されます

ホームページの立ち上げ

臼杵市医師会立 コスモス病院

在宅医療連携拠点事業のタスクに対するとりくみ

④在宅医療に関する地域住民への普及啓発→広報班

キャッチコピーとイメージキャラクターを決める

1.講演会

→まず行政・在宅医療・福祉**専門職への啓発**

2.広報誌「コスモスの風」

→事業開始のお知らせ　回覧板にて**市民へ周知**

3.**在宅医療資源マップ**　全戸配布27.000枚

→かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局のすすめ

3.**啓発用ちらし**　27.000枚

→行政などの窓口・病院・診療所へ配置　講演会での配布

4.**ケーブルテレビの活用「お家で暮らそう」**

→15分枠の番組　事業の周知から各専門職が番組企画

5.小さな講演会

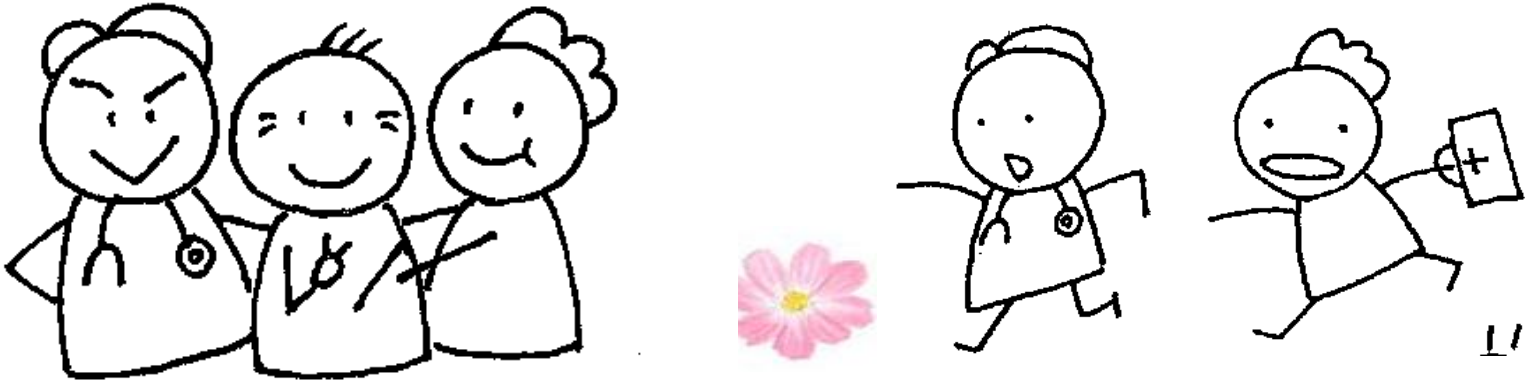
→専門職や地域の研修会で啓発

気持ちを一つにして取り組もう

キャッチコピー

みんなで支える在宅医療
－自分らしい生き方を選択しましょう－

イメージキャラクター



市民にわかりやすいように同じキャラクターで統一

在宅医療資源マップ　　啓発用ちらし
ホームページ　　ケーブルテレビ

平成24年度在宅医療連携拠点事業・講演会

第一部　10年後のより豊かな高齢期の暮らしを目指して
～　臼杵市の高齢化の実状と在宅医療の推進　～

臼杵市保健福祉推進アドバイザー
厚生労働省　　年金局数理課
課長補佐　西 岡　　隆
座長　臼杵市医師会立コスモス病
院　院長　安田正之

第二部 「豊かな在宅医療のために」
臼杵市における専門職の取り組み
各専門職より報告

日　時　平成24年9月29日（土曜日）
場　所　臼杵市民会館　小ホール
対　象　保健医療福祉従事者　200名

在宅医療連携拠点事業のめざすもの
1.事業内容概要　コスモス病院
　　地域医療福祉連携室　　野上美智子
2.うすき石仏ねっとの目指すところ
　　コスモス病院　副院長　　舛友一洋
みんなで支える在宅医療のために
臼杵市長　中野五郎

2012.12　ケーブルテレビ番組制作

2012.12.24より放送開始

在宅医療連携拠事業について→

↓撮影風景

栄養士会による高齢者の食事→

2012.MSWによる講義
専門職へ対する啓発

連携をテーマとする研修会で2025年の
課題と当事業について説明・ちらし配布

2012.12.11大分県看護協会35名

2012.12.13大分県薬剤師協会80名

在宅訪問における研修会

2012.12.16大分県理学療法士会80名

2012.MSWによる講義
地域の方への啓発

ふれあい交流会や地域の勉強会に参加。
これからの地域づくりについて啓発。
うすき石仏ねっとへの参加呼びかけ。

2012.11.5民生児童委員理事会

2012.12.4北海添区民57名

2012.12.19下ノ江地区民45名

※　2013年7月に亀城大学700名に対する講義が予定されている

在宅医療連携拠点事業のタスクに対するとりくみ

⑤在宅医療に従事する人材育成→研修班

ケアマネの資格を持った看護師担当

1.臼杵市内で行われている医療・福祉に関する研修の調査
　→ばらばらに行われている研修を効果的に行う
　→研修による疲弊をなくすため**協働で研修計画**を立てる
　　地域リハビリ・保健所・地域包括・福祉施設など
2.グループワークによる課題に基づく研修計画
　→今年度は**がん患者の支援**をテーマとする
　→医療に強い在宅医療・福祉従事者の育成
3.ホームページに臼杵市内で行われる研修の公開
　→**だれでも参加できる研修**
4.病院の研修も地域を見据えた研修のあり方を考える

2012.10.30
地域リハビリテーション研修会と共催

管理栄養士ならこうするちょっとした
カロリーアップ ダウン の方法

病院内外　多職種82名参加
特にヘルパーさんに大人気

2012.12.15　法人内部門交流＋プロジェクトZ

テーマ「地域連携」

1.在宅医療連携拠点事業　安東　直美
「平成24年度在宅医療連携拠点事業内容概要」
2.地域包括支援センターコスモス　原　聖志
「地域との連携強化について」
3.「当科における糖尿病地域連携への取り組み」
内科　近藤　誠哉
糖尿病スタッフミーティング
4.臼杵市の認知症を考える会
「認知症予防における行政・医師会との取り組み」
大分大学医学部　総合内科学第三講座　木村　成志

参加者155名

2012.11.26　褥瘡の勉強会　院内NSTと協働

テーマ:「褥瘡予防の基礎知識とケアのポイント」

講師　大分県立病院
　　皮膚排泄ケア認定看護師　多田　章子

総勢　77名

2012.12.18がん在宅ケアチーム連絡会議および緩和ケア研修会

臼杵地区がん患者の在宅療養支援についての申し合わせ

「がん診療連携拠点病院」からの在宅へ移行し「地域の医療機関」へ転院する場合はコスモス病院の医療福祉連携室のMSWが相談窓口となり、コーディネートする。

がん患者の在宅医療を支えるために～緩和ケアを中心に～
やまおか在宅クリニック院長　山岡憲夫
〇病院スタッフのみならず、訪問看護・歯科医・薬剤師など多職種による研修

中部保健所
大分県事業

緩和ケア勉強会　2013.1.24 –緩和ケアって特別ですか–

大分大学医学部
麻酔学講座
奥田健太郎　先生

多職種　　名

座長・荒巻副院長

院内外からの参加者

歯科医師の方々

在宅医療連携拠点事業のタスクに対するとりくみ

⑥防災のための取組→防災班

1.**災害時要援護者の把握**に対するシステムづくり
　→地域包括支援センターー在宅医療を受けている方の把握
　→災害時の重要な情報ー**緊急時連携シート**の作成
2.臼杵市の「安心お守りキット」への情報提供
　→ケアマネによる情報の追加をキットへ
3.臼杵市の防災への協力
　→防災会議や防災訓練への協力
4.災害時の必要物品の整備
　→**担架　30台を配置**
　　臼杵市防災備蓄庫15台　日本赤十字備蓄庫15台
　→**足踏み式吸引器　20台**
　　備蓄庫へ各1台　2つの訪問看護ステーションよりレンタル

臼杵市には安心お守りキットがあります

約5,450名の登録　約350件は救急現場で活用されました

ステッカー
マグネット

プラスチック製
容器

冷庫用お守りカード

お守りカード（冷蔵庫用）

氏名	生年月日	性別	血液型
臼杵　太郎	昭和 5 年 1 月 1 日	男	A 型
電話番号	住所		
0972-63-0000	臼杵市大字臼杵○○-1 本町○組		
保険証番号	後期高齢者		
	1234567		

緊急連絡先氏名	続柄	電話番号	住所
臼杵　一郎	長男	097-000-0000 090-0000-0000	大分市青葉町△△-○○
大分　次郎	友人	0972-64-0000 080-0000-0000	臼杵市大字臼杵○○-△

	かかりつけ医療機関 ①	かかりつけ医療機関 ②
病院名	○○医院	△△総合病院
科目	呼吸器科	循環器科
担当医	市浜太郎	下南月子
病名	ぜんそく	高血圧
住所	臼杵市○○12-3	大分市○○4-5-6
電話番号	0972-64-××××	097-543-××××

介護保険の事業者	所在地・電話番号
○○介護事業所	臼杵市○○667-1 0972-64-◇◇◇◇

ふだん使っているもの

臼杵市　お守りカード（携帯用）

氏名	うすき　たろう 臼杵　太郎	性別	男	電話	0972-63-0000
生年月日	昭和 5 年 1 月 1 日			血液型	A 型
住所	臼杵市大字臼杵○○-35			本町○組	

緊急連絡先

氏名	続柄	電話番号①	電話番号②
臼杵一郎	長男	097-000-0000	090-0000-0000
大分次郎	友人	0972-64-0000	080-0000-0000

かかりつけ医療機関

病院名	科目	担当医	病名	電話番号
○○医院	呼吸器科	市浜太郎	ぜんそく	0972-64-××××
△△総合病院	循環器科	下南月子	高血圧	097-543-××××

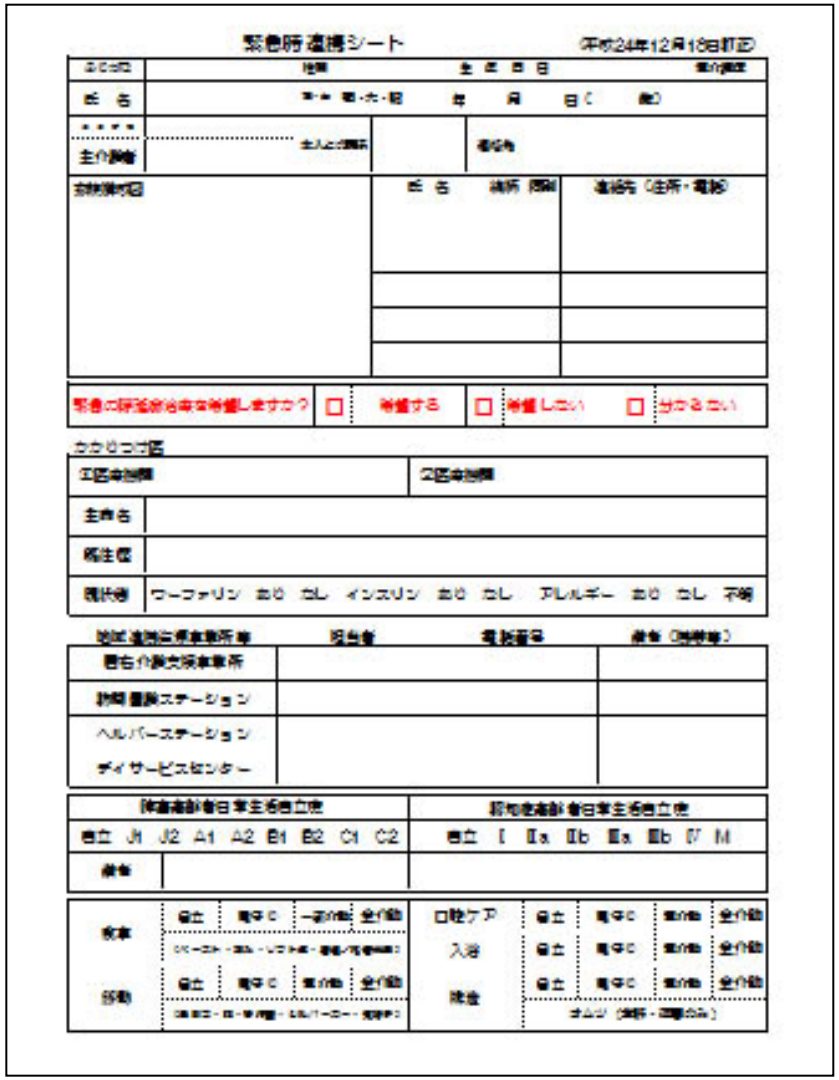
介護保険の事業者

事業所名	電話番号
○○介護事業所	0972-64-◇◇◇◇

（平成22年5月14日作成）

携帯用お守りカード

緊急時連携シートで医療情報追加



緊急時連携シート　（平成24年12月16日訂正）

ふりがな	性別	生年月日	要介護度
氏名	年 月 日（ 歳）		
主介護者	主人との関係	連絡先	

主治医機関	氏名	病所	連絡先（住所・電話）

緊急の時延命治療を希望しますか？ □ 希望する □ 希望しない □ 分からない

かかりつけ医

①医療機関	②医療機関
主病名	
既往歴	
現状	ワーファリン　あり　なし　インスリン　あり　なし　アレルギー　あり　なし　不明

訪問看護ステーション	担当者	電話番号	備考（時間等）
居宅介護支援事業所			
訪問看護ステーション			
ヘルパーステーション デイサービスセンター			

障害高齢者日常生活自立度	認知症高齢者日常生活自立度
自立　J1　J2　A1　A2　B1　B2　C1　C2	自立　Ⅰ　Ⅱa　Ⅱb　Ⅲa　Ⅲb　Ⅳ　M
備考	

食事	自立	見守り	一部介助	全介助	口腔ケア	自立	見守り	一部介助	全介助
	パーキンソン・ALS・レビー小体・進行性核上性麻痺				入浴	自立	見守り	一部介助	全介助
移動	自立	見守り	一部介助	全介助	排泄	自立	見守り	一部介助	全介助
	脳血管・癌・骨折・ALS・パーキンソン・呼吸不全					オムツ（夜間・日中含む）			

防災事業への協力

臼杵市地域防災会議及び国民保護協議会 7/25

医療福祉連携室MSW
臼杵市地域防災会議委員に委嘱される

防災士養成研修講座7/28-29

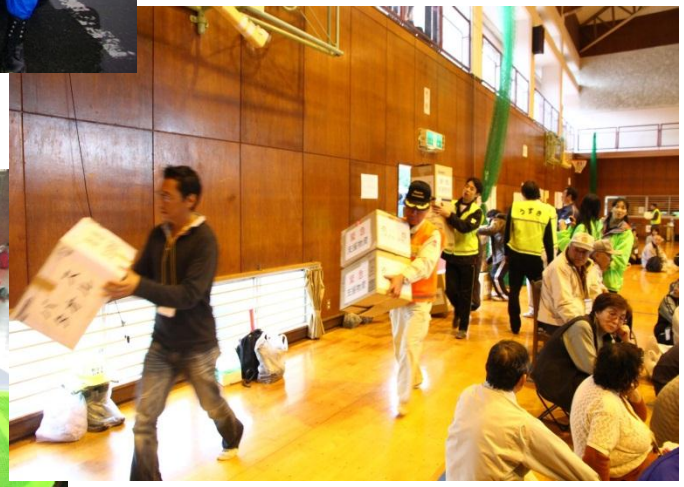
コスモス病院副院長 舛友医師 当院職員取得

2012.11.11平成24年度大分県南部地区総合防災訓練
「避難所開設・運営」スタッフ研修会

プロジェクトＺのメンバー　コミュニティ防災課より依頼

コスモスＤＭＡＴは
当然出動

179世帯267名の避難開設・運営訓練



連携室　ＭＳＷ2名参加

楽しかった懇親会

顔の見える関係

厚生労働省・市長・副市長・議員・市役所・コスモス病院・歯科医院・福祉施設・地域包括・居宅介護支援事業所・薬局・・・・職種はさまざまでした。

地域医療連携拠点事業協力者

日時　平成24年9月29日（土曜日）総勢　47名